

<p>教育支援にご協力を！</p> <p>3月に卒業生を送り出した現地では6月の新学期に向けて奨学生候補の選考が進んでいます。</p> <p>卒業までは負担と思われる方は2年間でも結構です。1人でも多くの子どもたちに教育を受ける機会をお与えください。</p> <p>(会費詳細はP8をご参照下さい)</p>	 <p>2008年4月28日発行</p>	<p>NPO 法人ビラーンの医療と自立を支える会 (英文名略称・HANDS)</p> <p>227-0033 横浜市青葉区鴨志田町516-11</p> <p>TEL:045-962-0824 FAX:045-962-1933</p> <p>E-mail: hands-ty@r07.itscom.net</p> <p>http://www.jca.apc.org/~hands/</p> <p>郵便振替口座 00210-5-72693</p> <p>(加入者名) ビラーンの医療と自立を支える会</p>
---	---	---

伝統と発展 — チボリ女性とわたしたちの選択

開店から7ヶ月が経過した「伝統の家」を訪問しました。高床の店内のショーケースには、ポーチ、財布、名刺入れなどティナラク織りの小物、色とりどりのビーズ製品が並んでいます。壁には精巧で複雑な模様の刺繍がほどこされたブラウスが飾られています。片隅にさりげなく置かれた竹籠もセンスが良く、先週外国人グループが大量に買っていき、生産者に追加注文しているところ、とのことでした。店内にいた高校生の男女20名ほどは、フィールドトリップ中のサランガニ州のインターナショナルスクールの学生でした。英語を流暢に話す高校生たちは「私たちこれ好き!」「かわいいし、伝統的な模様がいいよね」とロ々に話しています。引率の先生によると「授業で他の国の文化や言葉を勉強することはあるけれど、地元の先住民族の文化に触れる機会は無い」とのことです。

COWHED は昨年京都の老舗織物問屋さんから注文を受けています。「糸も染めも織りも質が高く、伝統柄の帯地」という注文のため、織り手の中で一番のヘルダさんが織っています。問屋さんには生産体制について考慮していただき、大量注文は控えていただきました。つまり「良い品物ができれば買い上げる」というやり方です。これは一見織り手の収入が安定しないように感じます。しかし、草木染めに利用する葉や根を乱獲しないで環境を守りつつ、織り手たちも収入のためにだけ働くのではなく、先祖伝来の伝統織物を守り、次世代に伝えていくことで自身も生活できることを目指しているからです。

フェアトレードという言葉をご存知でしょうか？自由貿易の実態は搾取であり間違っていた、もっと生産者にとって公正／公平な貿易を、という主張のもと、アジ

アやアフリカの生産者から、適正な価格で買い上げるシステムです。コーヒーやカカオ豆が有名ですが、各地の伝統品もフェアトレード品として扱われています。

フェアトレード品のみ扱う店舗として有名な、ピープルツリーやネパリバザーロ、第三世界ショップのカタログを読むと、ただ品物売るだけでなく、誰がどんなふう生産しているか、売り上げはどのように使われるか詳細に記述してあり、好感が持てます。しかしバングラデシュやネパールの織物は伝統柄を生かしつつ、先進国の好みを入れモダンにしたもの、刺繍はワンポイント的に伝統柄をあしらっている製品が多いようです。



「伝統の家」を切り盛りするジェマさん

では、わたしたち HANDS は今後どのようにティナラク織と関わっていくべきでしょうか？織り手の収入向上を第一に考え、日本で売するために日本人が好むようなデザインを注文するのか、あくまで「糸、色、柄、織り」の4点がそろってこそティナラク織であると考え、その伝統を守っていくのか。

みなさんとともにゆっくり考えていきたいと思っています。ご意見をお待ちしています。(九島)